

Geoeconomics Summit 2024 - Improving Resilience through Rules-Based International Order-

2024年11月1日（金）9時30分－17時（日英同時通訳あり）

AGENDA

9:30-10:30: 基調講演・地経学研究所長との対談（ライブ配信あり）

新浪剛史 経済同友会代表幹事

10:40-11:50: パネルセッション1 - 半導体（ライブ配信あり）

モデレーター：鈴木一人（地経学研究所長）

パネリスト：

Dr. June Park (Visiting Fellow, Middle East Council on Global Affairs 韓国)

Dr. Jeremy Chih-Cheng Chang (Research Fellow and Unit Leader of Economic Security Unit, Research Institute for Democracy, Society and Emerging Technology (DSET) under the National Science and Technology Council, 台湾)

Dr. Peter Van Der Hoest (Counsellor, Embassy of the Kingdom of the Netherlands in Japan オランダ)

半導体産業における各国の戦略はどのようなものか。米国大統領選後の規制強化の可能性、中国によるレガシー半導体における攻勢、AI や自動運転普及を見据えた今後の需給の動向を踏まえ、各国間の協調、競争領域について議論する。

12:00-13:30: ランチカクテル

14:00-15:10:

パネルセッション 2 A - 脱炭素とテクノロジー (ライブ配信あり)

モデレーター：馬田隆明 (国際文化会館上席客員研究員)

パネリスト：

伊井幸恵 氏 (みずほフィナンシャルグループ サステナブルビジネス部サステナビリティ
チーフストラテジスト)

黒崎美穂 氏 (エネルギー・インパクト・パートナーズ アジア太平洋地域統括ヴァイスプ
レジデント)

アジアのエネルギー市場における脱炭素への移行と投資の現状を踏まえ、トランジションを加速するための政策支援のあり方や、企業戦略について考察する。技術革新の成功事例や、社会実装、スケールアップへの課題についても触れ、アジアにおける最適な技術的、経済的アプローチについて幅広く議論する。

パネルセッション 2 B- EV と規制 (会場のみ)

モデレーター：鈴木均 (地経学研究所欧米グループ主任研究員)

パネリスト：

Dr. Naoise McDonagh (Senior Lecturer (International Business), School of Business
and Law, Edith Cowan University (ECU); Managing Editor, Law &
Geoeconomics オーストラリア)

Dr. Mathieu Duchâtel (Director of International Studies, Institut Montaigne フランス)
土居健市 (地経学研究所中国グループ主任研究員)

米国や EU が過剰生産を理由に、中国製 EV に対し関税をかけることを各国がどのように考えるか。1980 年代の日本車の「自動車輸出自主規制」との相違点、共通点は何か。グリーントランスフォーメーション推進を目的としながら、自国の EV 産業を守る理由の本質を明らかにし、米国、中国、欧州のパワーバランスについて考察する。

15:10-15:30: コーヒーブレイク

15:30-16:40:

パネルセッション3A - 多国間協力 (ライブ配信あり)

モデレーター：細谷雄一 (地経学研究所欧米グループ長)

パネリスト：

Dr. James Kim (Director of Programs, Korea Economic Institute of America; Lecturer, School of International and Public Affairs (SIPA), Columbia University 韓国)

Dr. Joseph Liow (Tan Kah Kee Chair in Comparative and International Politics at Nanyang Technological University シンガポール)

Dr. Mihir Sharma (Director, Centre for Economy and Growth Program, ORF インド)
西脇修 氏 (防衛省防衛装備庁 長官官房審議官)

ルールに基づかない単独行動主義的な動きが強まる中で、インド・太平洋にセントラリティを持たせることは、多国間の枠組みを通じて可能なのか、またどの程度の強度が望ましいのだろうか。各国、各地域で行われた選挙、これから結果が出る米国の大統領選挙が、インド・太平洋地域の安全保障、経済協力のあり方に及ぼす影響などを考察し、今後の展望について多角的に議論する。

パネルセッション3B - クリティカルミネラル (会場のみ)

モデレーター：山田哲司 (地経学研究所経済安全保障グループ主任客員研究員)

パネリスト：

Dr. Ian Satchwell (Adjunct Professor, Sustainable Minerals Institute, The University of Queensland; Senior Fellow, Australian Strategic Policy Institute, Australia オーストラリア)

原田武 氏 (エネルギー・金属鉱物資源機構(JOGMEC) 金属企画部担当審議役)

クリティカルミネラルの安定供給のためにサプライチェーンの多角化は可能か。オーストラリア、カナダなどの各国は、調達において中国の代替先となりうるだろうか。採掘・精錬にかかる投資コストを踏まえた現実的なオプションに加え、環境への影響や人権のような倫理的課題への対応についても議論する。

16:45-17:00:閉会の挨拶